

第3部 資料編

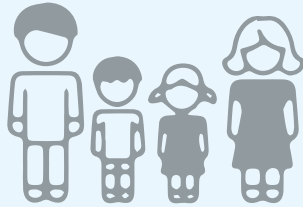
統計で見る守山50年

人口

34,785人
昭和47年版守山の統計
昭和45年国勢調査
昭和45年10月1日現在

83,852人

守山市住民基本台帳
令和2年3月31日現在



世帯数

7,721世帯
昭和47年版守山の統計
昭和45年国勢調査
昭和45年10月1日現在

32,927世帯

守山市住民基本台帳
令和2年3月31日現在



出生数

749人/年
昭和47年版守山の統計
守山市住民基本台帳 昭和45年

702人/年

守山市住民基本台帳 令和元年中



死亡数

279人/年
昭和47年版守山の統計
守山市住民基本台帳 昭和45年

627人/年

守山市住民基本台帳 令和元年中



市職員数

364人
昭和47年版守山の統計
市総務課 昭和48年4月4日現在

527人

市人事課 令和2年4月1日現在



琵琶湖大橋通行台数

1,618,677台/年
県道路公社問合せ
昭和45年

12,755,099台/年

県道路公社問合せ
平成30年



守山駅乗降客数

11,940人/日
鉄道博物館問合せ
大阪鉄道管理局鉄道統計年報
昭和45年度値を一日に換算

34,174人/日

JR西日本お客様センター問合せ
平成30年度



農家数

3,412戸
昭和47年版守山の統計
1970年世界農林業センサス
昭和45年

1,261戸

令和元年版守山市統計書
平成27年農林業センサス



ごみ量

ごみ年間処理量 14,509t
昭和47年版守山の統計
市保健衛生課/昭和47年

ごみ総量 24,000t

令和元年版守山市統計書
市ごみ減量推進課 平成30年度



図書館貸出冊数

65,723冊
市立図書館問合せ
昭和53年度(※)

1,001,262冊

市立図書館問合せ 令和元年度
※昭和53年度は市立図書館開設年度



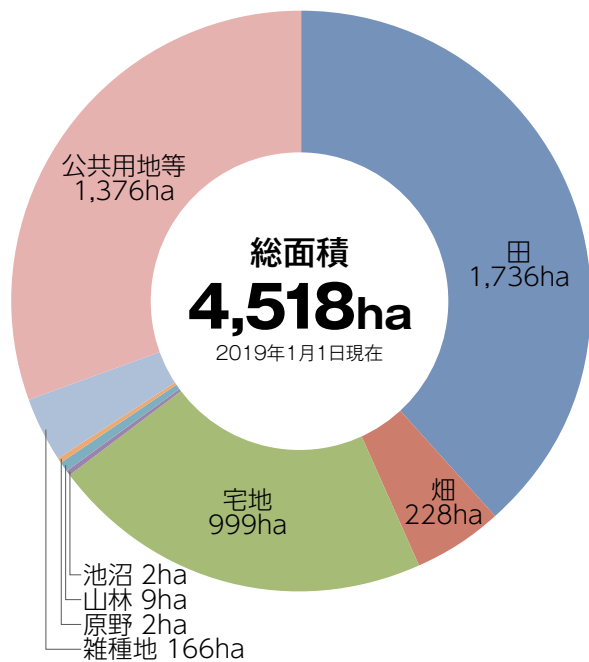
歴代市長・助役・副市長・収入役・教育長

(年)	市長	助役	副市長	収入役	教育長
1970	北川 俊一 1970/7	大井 角次 1970/7		河東三代治 1970/7	河崎磨磋男 1970/7 高田 信昭 1972/9 1972/10 1974/12
1975	1975/2 1975/2	1975/2 1975/3		1975/2 1975/3	1975/3
1980		寺田 智			馬澤敬一郎 1980/9 1980/10
1985	高田 信昭	1987/3 1987/4		田中 甲子	津田 剛
1990		行村 修			1990/3 1990/4
1995	1995/2 1995/2	1995/3 1995/4		1991/3 1991/4 山本 實	遠藤 繁雄 1995/9 1995/10
2000	甲斐 道清	田中 健一		間宮 崇弘	川端 弘
2005	2003/2 2003/2	2003/2 2003/4 奥村 勲 2007/1		2003/2 2003/4 松村 茂 2007/2	2003/3 2003/4 山川芳志郎
2010	山田 巨宏	2007/3 松村 茂			2009/3 2009/4 上路 博
2015	2011/2 2011/2		2011/2 2011/9 秋山 新治		2015/3 2015/4 田代弥三平
2020	宮本 和宏		2015/9 2015/9 川那辺守雄		
	在任中		在任中		在任中

※地方自治法の改正により2007年度から助役に換えて副市長を置くこととなり、同年3月31日をもって収入役の制度は廃止された
(資料:市総務課)

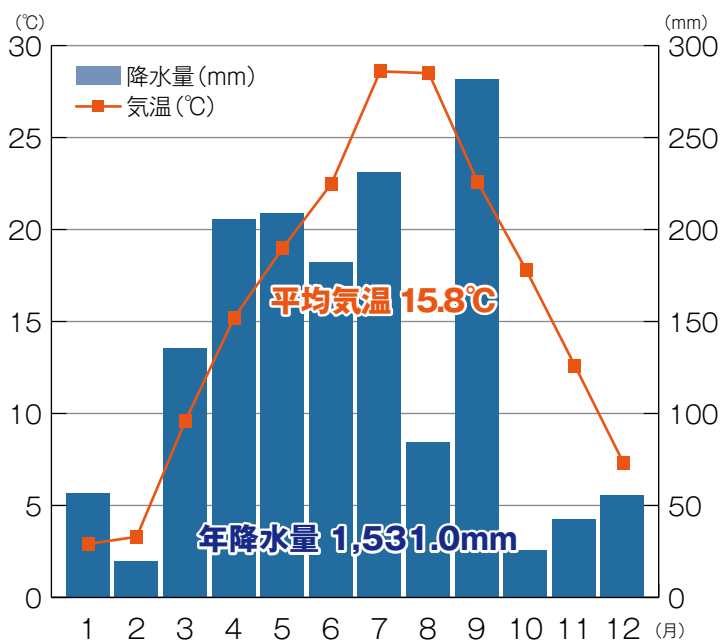
自然・地勢

地目別面積 (2019年)



(資料:市税務課)

雨温図 (2018年)



(資料:湖南広域消防局災害管制課)

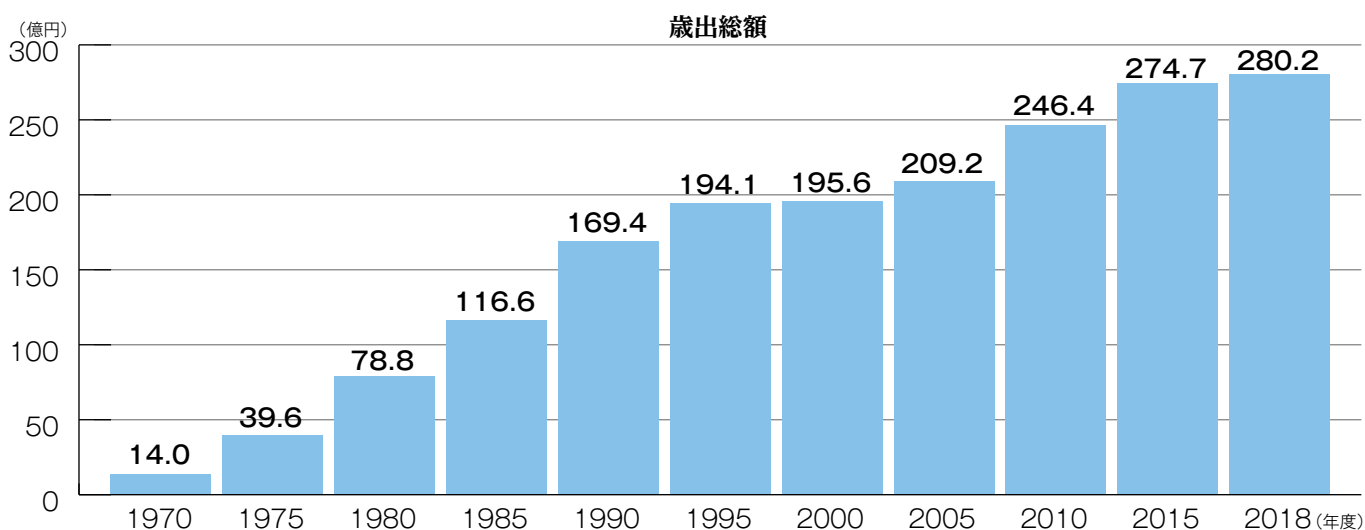
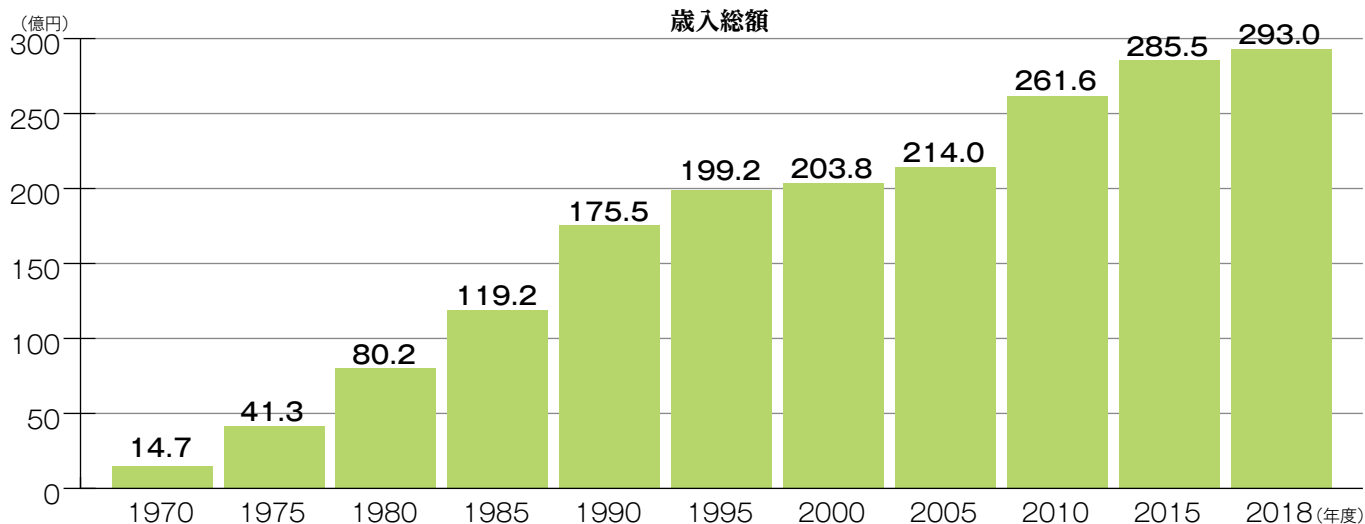
市域の変遷

年 月 日	面積 (km ²)	摘 要
1904年 2月 1日	...	町制施行
1941年 7月 10日	...	守山町、物部村合併し守山町
1955年 1月 15日	35.73	守山町、小津村、玉津村、河西村、速野村合併し守山町
1957年 3月 1日	42.62	中洲村合併 (吉川、菖蒲、喜合を除く区域)
1966年 3月 18日	43.82	公有水面の埋立て
1968年 8月 16日	43.83	公有水面の埋立て
1968年 11月 20日	43.83	公有水面の埋立て
1969年 1月 10日	43.83	公有水面の埋立て
1970年 7月 1日	43.83	市制施行
1971年 3月 31日	43.84	公有水面の埋立て
1972年 8月 30日	43.84	公有水面の埋立て
1973年 9月 26日	43.87	公有水面の埋立て
1980年 8月 8日	43.88	公有水面の埋立て
1984年 10月 1日	44.18	公有水面の埋立て
1990年 10月 1日	44.26	一部境界未定のため総務庁統計局にて推定
2007年 10月 1日	54.81	琵琶湖の境界確定
2010年 7月 30日	55.73	行政界確定
2014年 10月 1日	55.74	全国都道府県市区町村別面積調

(資料:守山市統計書)

一般会計歳入歳出決算

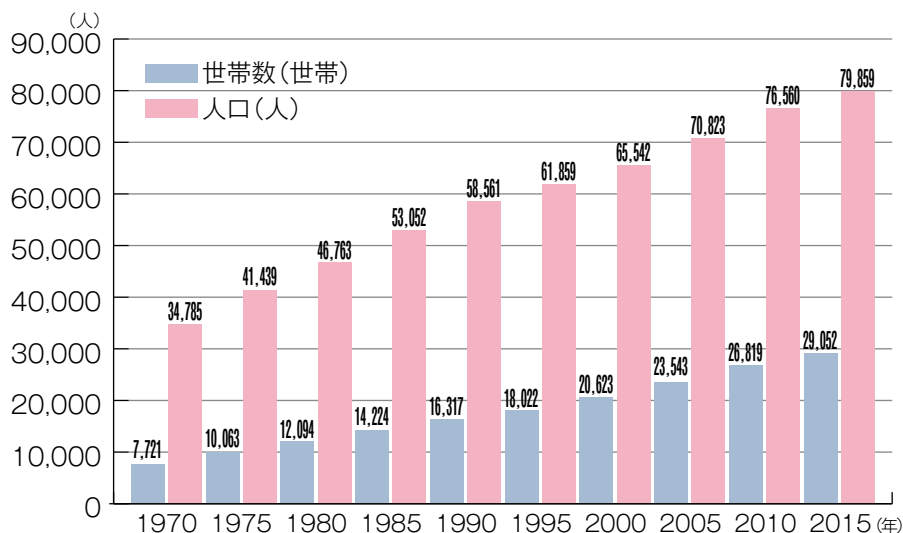
歳入歳出の推移



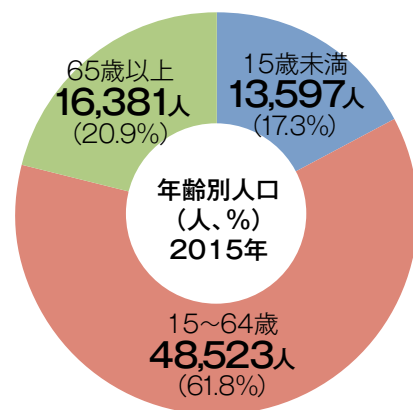
(資料:市財政課)

人口

人口の概況



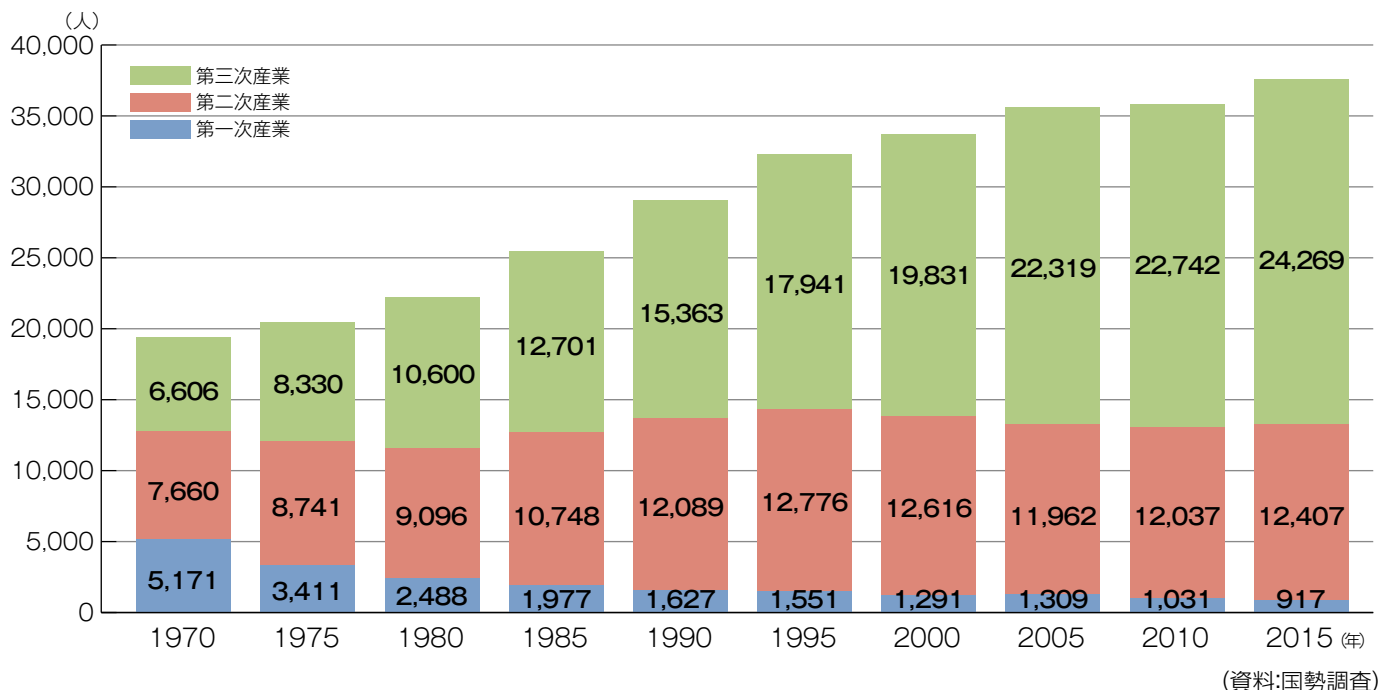
年齢別人口



(資料:国勢調査)

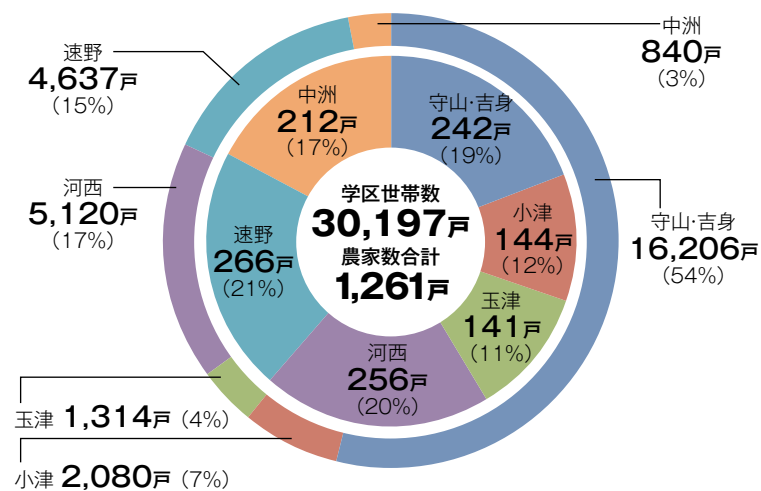
産業

産業別就業人口の推移

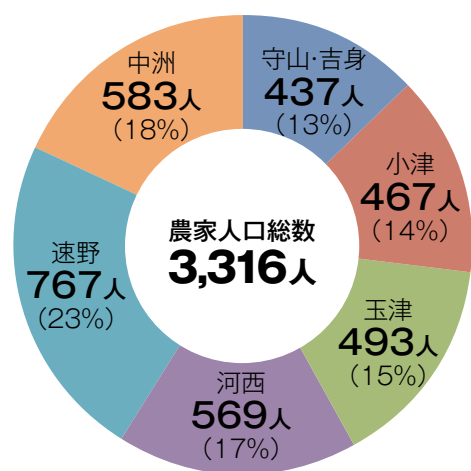


農業

学区別農家数 (2015年) 学区別農家数 (内円) 対学区世帯数 (外円) 比較



学区別販売農家人口の内訳 (2015年)



漁業

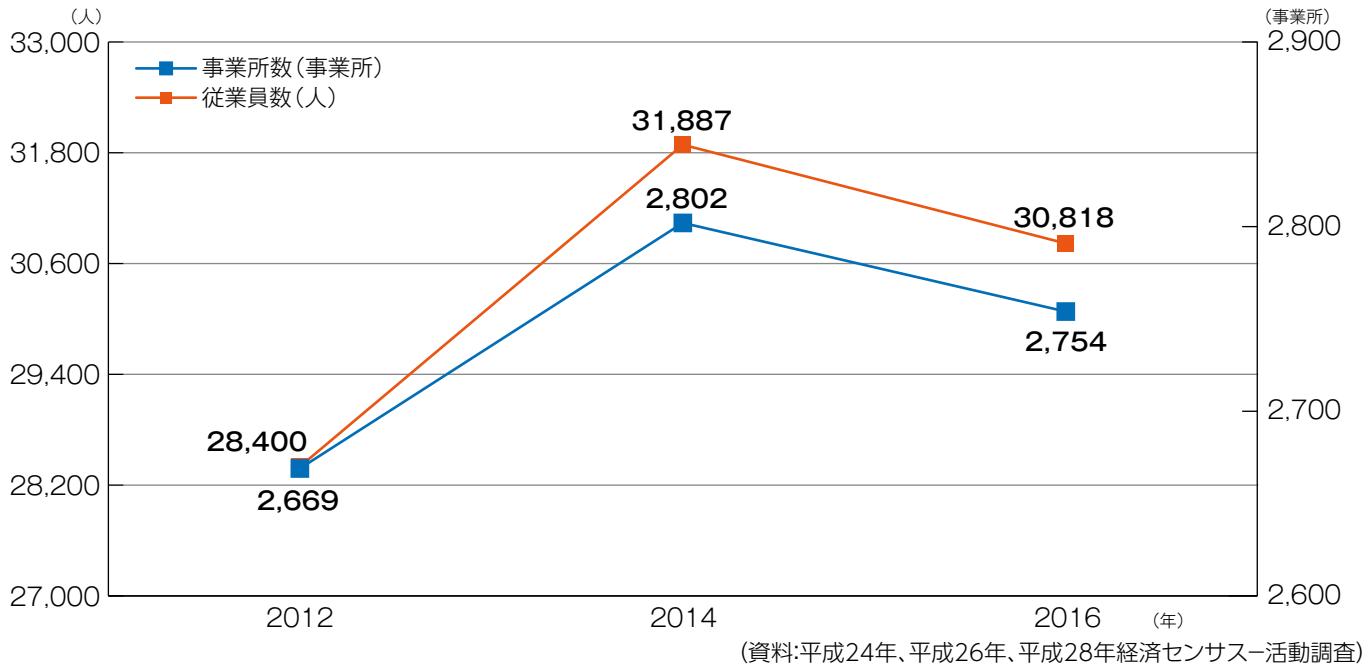
経営組織別、専業兼業別経営体総数の推移

	総数	個人		団体
		専業	兼業	
2003年	41	5	28	8
2008年	33	7	18	8
2013年	32	1	22	9

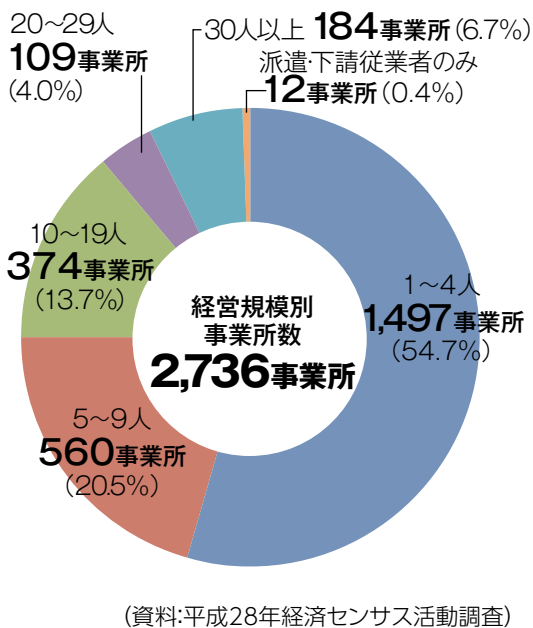
(資料:漁業センサス)

事業所

事業所の推移（2012年・2014年・2016年業種別事業所、従業者数）

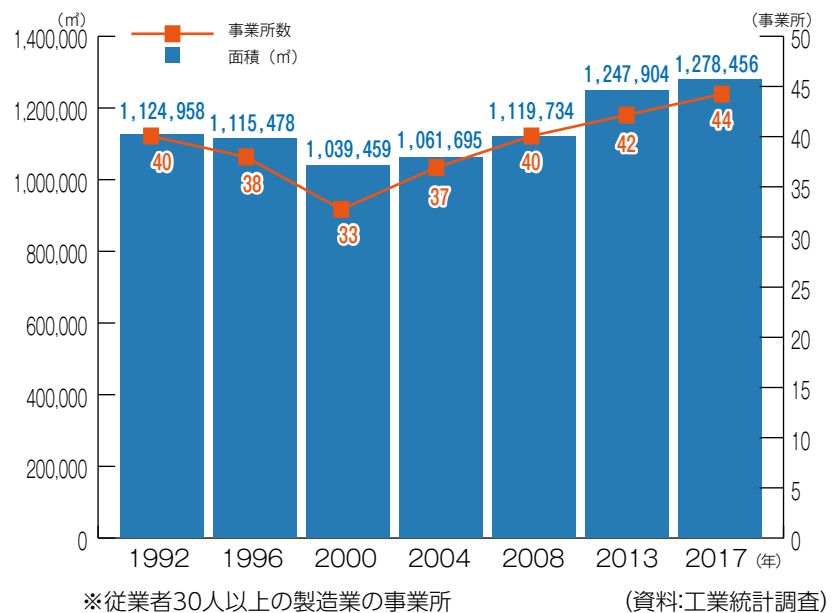


経営規模別事業所数（2016年）



工業

工業用地（製造業事業所※）面積および事業所数の推移



商業

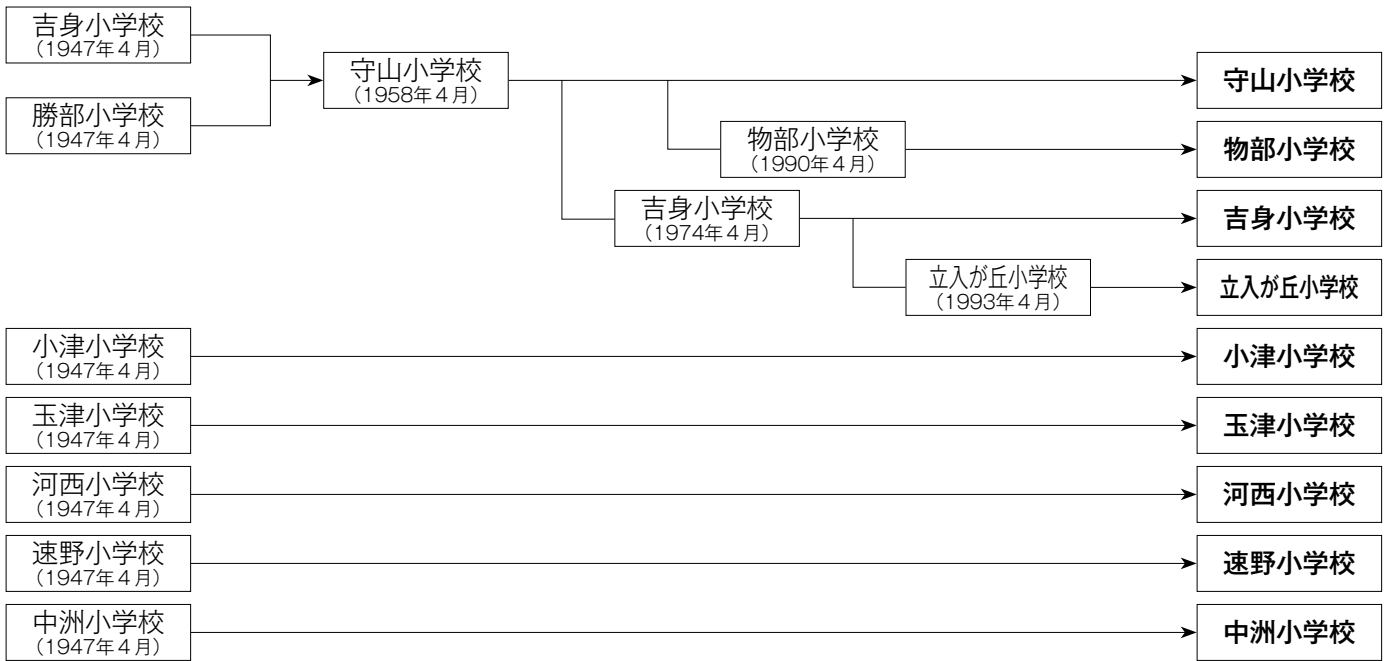
卸売業、小売業の推移（事業所数、従業者数、売場面積）

	事業所数（事業所）			従業者数（人）	売場面積（㎡）
	総数	卸売業	小売業		
2002年	747	116	631	5,527	74,595
2004年	737	127	610	5,295	81,044
2007年	687	115	572	5,004	86,580
2012年	499	86	413	3,820	81,496
2014年	494	100	394	4,022	80,515
2016年	553	107	446	4,896	95,045

(資料:商業統計調査、平成28年経済センサス活動調査)

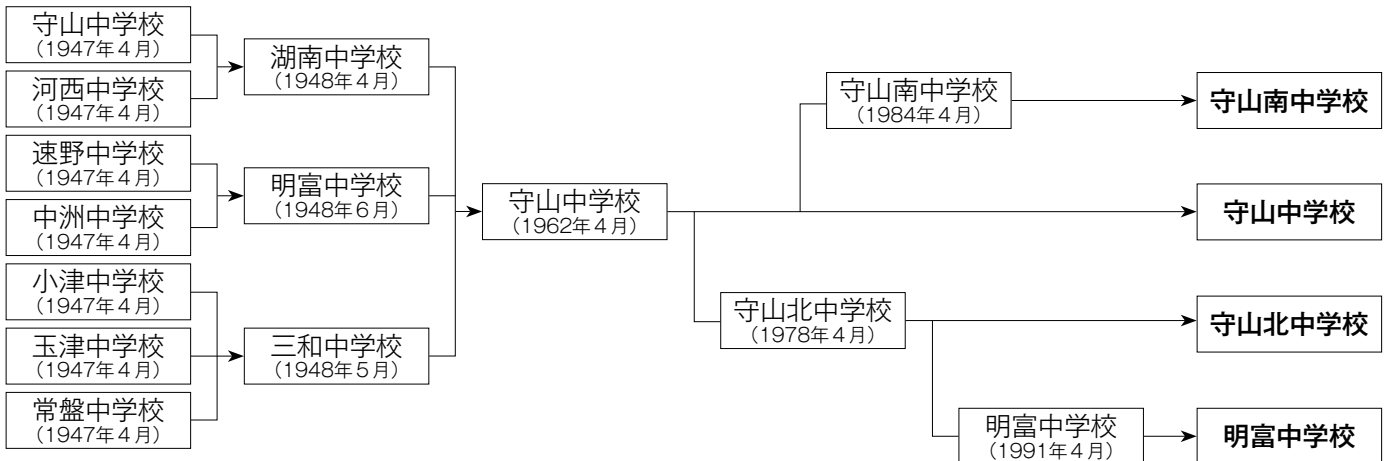
教育

市内小学校沿革



(資料:市内各小学校『沿革誌』)

市立中学校沿革



(資料:市内各中学校『沿革誌』)

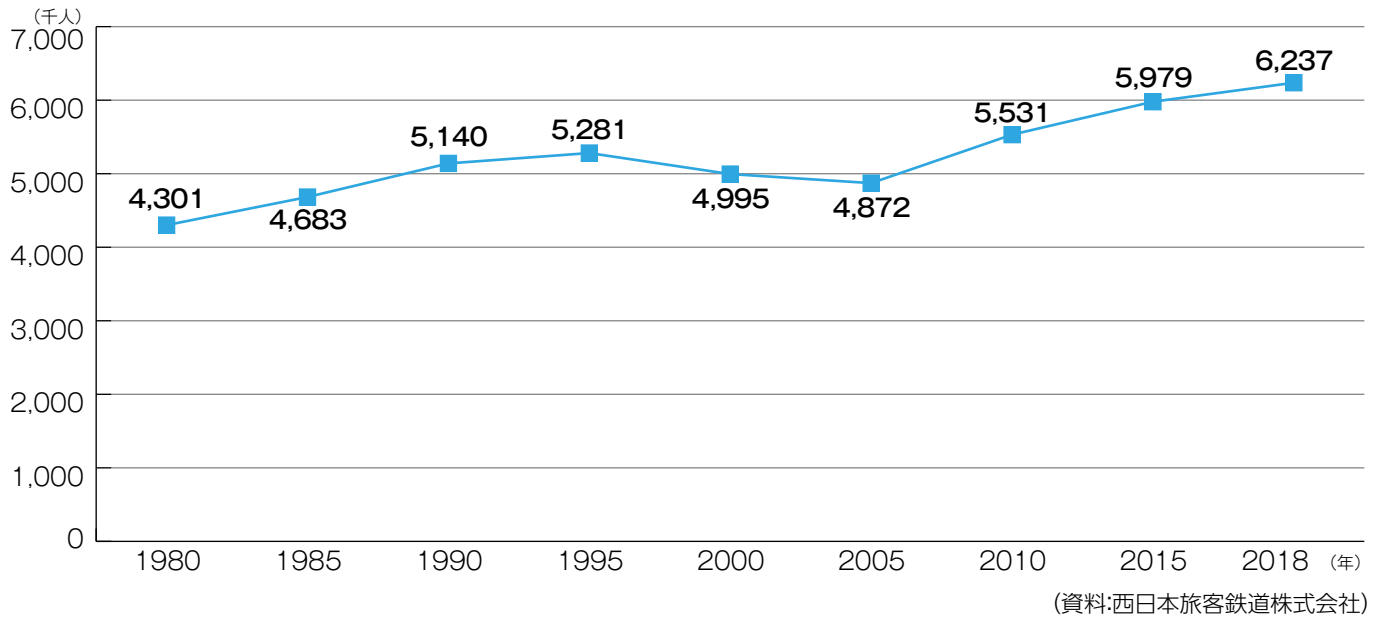
守山市保育園等一覧 (2019年度)

法人立 保育園・こども園	公立 保育園・こども園	公立幼稚園
ひなぎくこども園	守山保育園	守山幼稚園
はすねだこども園	浮気保育園	物部幼稚園
カナリヤ保育園	玉津こども園	吉身幼稚園
若鮎保育園	小津こども園	立入が丘幼稚園
カナリヤ第二保育園	中洲こども園	河西幼稚園
速野カナリヤこども園	吉身保育園	速野幼稚園
もりの風こども園		
ふるたか虹のはし保育園		

(資料:守山市HP)

運輸

JR守山駅の乗車人員の推移



近江バス、江若交通の営業キロ、路線数、停留所数、運行車両数、一日平均乗降客数

近江バス

2018年	
営業キロ数	43.2km
路線数	6本
停留所数	111箇所
延べ運行車両数	30台
1日平均乗降客数	4,668人

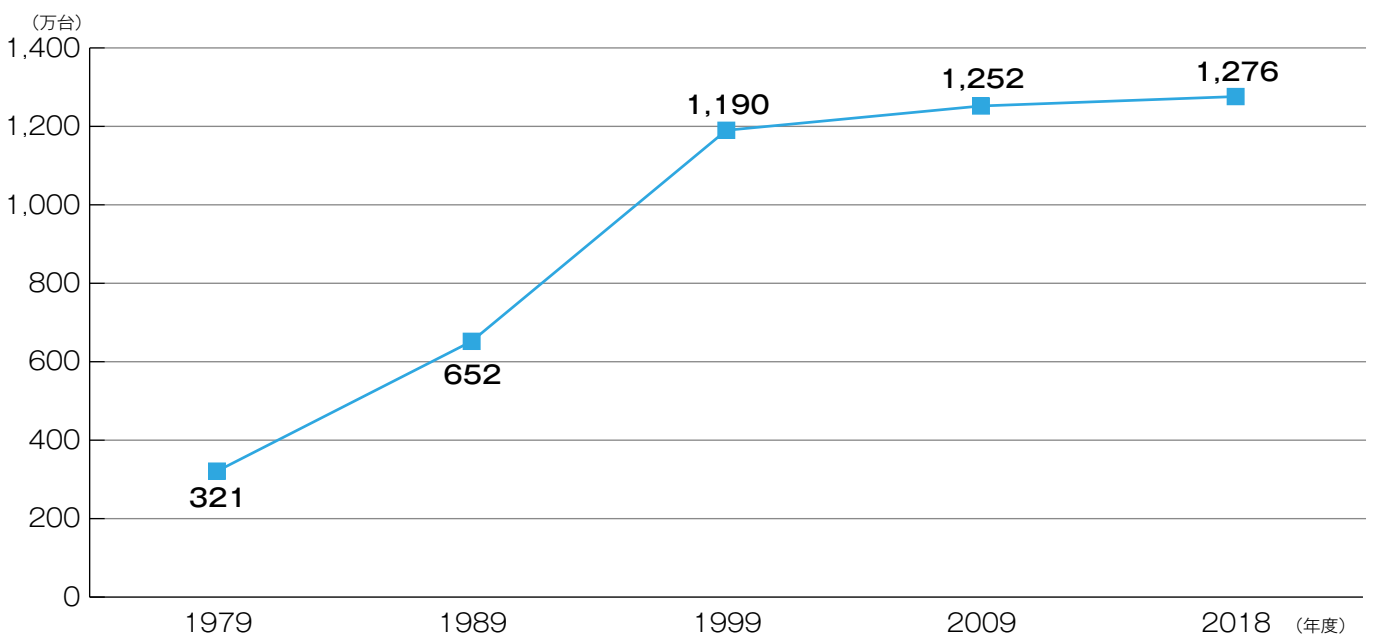
(12月末現在。資料:近江鉄道株式会社)

江若交通

2018年	
営業キロ数	17.1km
路線数	1本
停留所数	44箇所
延べ運行車両数	3台
1日平均乗降客数	554人

(12月末現在。資料:江若交通株式会社)

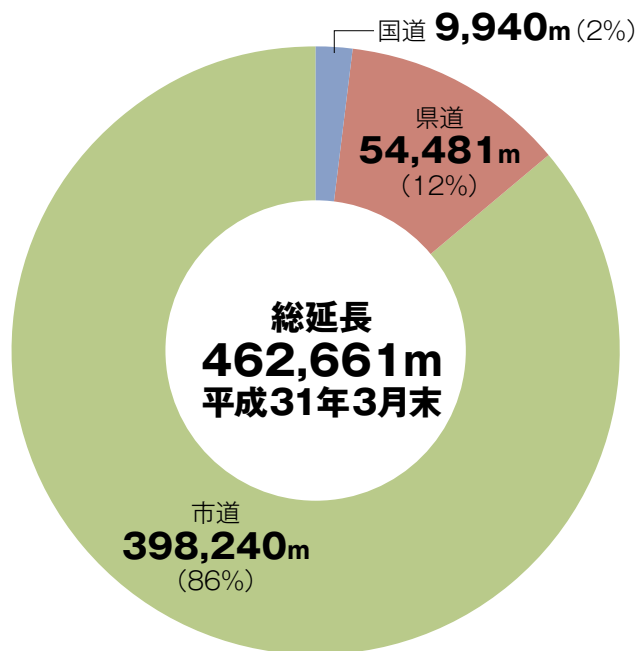
琵琶湖大橋通行量（年間総数）の推移



(資料:滋賀県道路公社 ※最新年度のみ問い合わせの数値)
1994年7月複橋化(四車線に拡幅)

道路

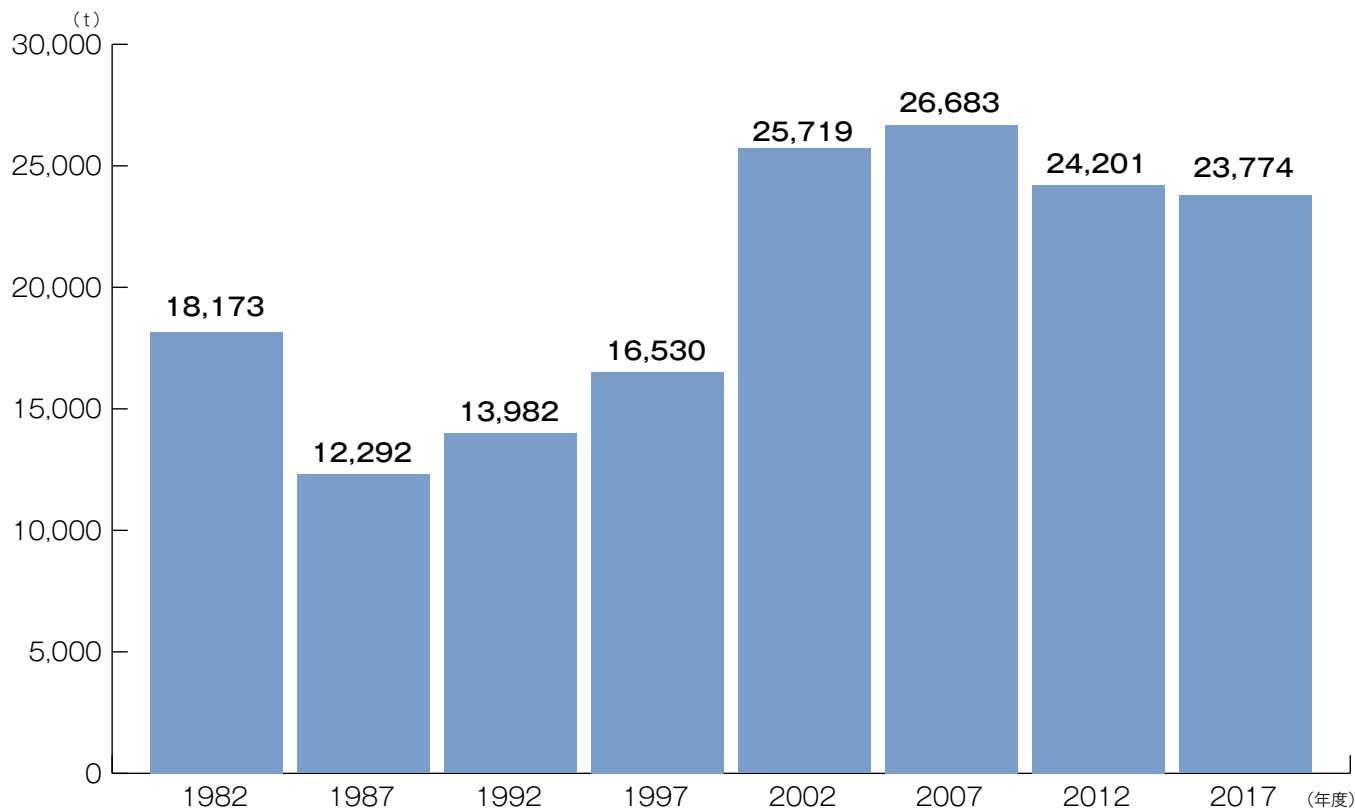
国、県、市道の実延長



(※道路の延長には橋梁の延長を含む。資料:令和元年版守山市統計書)

衛生

ごみ処理量の推移



(1982~1997年度までは収集ごみ合計量、2002~2017年度は資源物を含むごみ総量。資料:守山市統計書)

文化

国指定文化財等

(1) 重要文化財・国史跡

No.	名 称	物件名	時代	法量等	指定年月	所有（管理）者	所在地
1	石造懸所宝塔	建造物	鎌倉	H=3.83m	T 14.4	(守山市)	金森町
2	石造五重塔	建造物	鎌倉	H=2.86m	S 36.3	東門院	守山二丁目
3	石造五重塔	建造物	鎌倉	H=2.40m	S 29.3	最明寺	勝部一丁目
4	勝部神社本殿	建造物	室町	三間社流造松皮葺	T 2.4	勝部神社	勝部一丁目
5	小津神社本殿	建造物	室町	三間社流造松皮葺	M 39.4	小津神社	杉江町
6	木造聖観音坐像	彫刻	平安	H=0.92m	M 42.4	(守山市)	矢島町
7	木造十一面観音立像	彫刻	平安	H=1.8m	M 42.4	福林寺	木浜町
8	木造千手観音立像	彫刻	平安	H=1.62m	T 15.8	安楽寺	勝部一丁目
9	木造薬師如来坐像	彫刻	平安	H=1.45m	M 42.4	東福寺	立入町
10	木造仏頭	彫刻	平安	H=0.95m	M 42.4	蓮生寺	三宅町
11	木造不動明王及び二童子像	彫刻	平安末期		H 28.8	東門院	守山二丁目
12	木造宇迦乃御魂命坐像	彫刻	平安	H=0.50m	M 42.4	小津神社	杉江町
13	下之郷遺跡	史跡	弥生	3.2ha	H 14.3	(守山市)	下之郷一丁目
14	伊勢遺跡	史跡	弥生	2.0ha	H 24.1	(守山市)	伊勢町・阿村町

(2) 重要無形民俗文化財・選択無形民俗文化財

No.	名 称	種 類	選択指定年月	所有（管理）者	所在地
1	近江のケンケト祭り 長刀振り	無形民俗文化財	S 59.12 / R 2.3	小津神社長刀踊保存会	杉江町
				下新川神社伝統文化保存会	幸津川町

(3) 重要美術品

No.	名 称	物件名	時代	法量等	指定年月	所有（管理）者	所在地
1	石造宝塔	美術品	鎌倉	H=2.18m H=2.55m	S 23.4	福林寺	木浜町
2	石造宝塔	美術品	鎌倉	H=1.59m	S 23.4	東門院	守山二丁目
3	石造宝篋印塔	美術品	鎌倉	H=1.67m	S 23.4	東門院	守山二丁目

(4) 登録有形文化財

No.	名 称	物件名	時代	法量等	指定年月	所有（管理）者	所在地
1	北川家住宅土蔵	建造物	江戸	建築面積 39.64㎡	H 27.3	個人	三宅町

(5) 日本遺産

No.	名 称	指定年月	所有（管理）者	所在地
1	琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産 ●慈眼寺 ●近江のケンケト祭り・長刀振りの鮎ずし切りの神事(すし切祭り) ●大庄屋諏訪家屋敷 ●守山の湧水とほたる	H 30.5	慈眼寺 下新川神社伝統文化保存会 守山市、個人	吉身一丁目 幸津川町 赤野井町 守山市内

(2019年3月末現在。資料:守山市統計書)

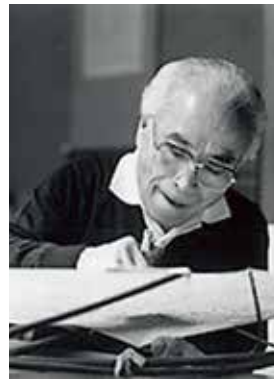
守山市名誉市民の紹介



宇野宗佑 (うの・そうすけ)

昭和35年に衆議院議員に初当選し、防衛庁長官や科学技術庁長官、行政管理庁長官、通商産業大臣、外務大臣を歴任。平成元年には、内閣総理大臣に就任され、憲政史上に多大な功績を残されました。

県下では、名神高速道路や琵琶湖総合開発など、国土基盤の整備や福祉の向上に貢献されました。特に、野洲川の改修は、地域住民の永年の悲願で、懸命な努力と熱意によって戦後最大の治水事業とされる野洲川河川改修の促進に尽力されました。



森口華弘 (もりぐち・かこう)

京都の代表的な手工芸「友禅染」の伝統継承に止まらず、大胆な色や柄を用い、友禅に生氣を吹き込み、「時糺」という手法を考案。絵の構図を立体的にしたり、色彩のむだを省いたりして、造形を追求し、昭和42年には、重要無形文化財「友禅」保持者（人間国宝）に指定されました。その後も、常に新しい可能性を追求し、創作活動を続けてこられ、また守山を郷土として地元の小学校などに作品を寄贈するなどされました。

市の誓い

守山市民憲章(昭和55年8月1日告示)

→6ページ参照

交通安全都市宣言(昭和59年7月21日大会宣言)

すべて市民は、個人として尊重され、生命および幸福追求に対する権利は、いかなる場合でも尊重されなければならない。

しかしながら、モータリゼーションの一層の進展を背景とした国民皆免許時代と呼ばれる本格的ななくま社会のなかで、交通問題はますます深刻となり、市民に大きな不安と悲しみ、そして、苦しみをもたらしていることは、誠に憂慮すべき事態である。

ここに、守山市は、市民の生命と安全を保持し、すべての市民が幸せと生きがいを感じるまちを築くため、5万市民の新たな決意と意欲を結集して、交通事故撲滅に万全を期するようわがまちを「交通安全都市」とすることを宣言する。

「のどかな田園都市守山」平和都市宣言

(昭和63年12月22日決議)

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

わたくしたちは「のどかな田園都市守山」の豊かな自然と香り高い文化にはぐくまれ、日々平和な生活を享受している。

この平和を恒久のものとするため、世界唯一の核被爆国の国民として、全世界の人々に被爆の恐ろしさと苦しみを訴え、再びその惨禍を繰り返してはならない。

ここに、わたくしたち守山市民は、人類の恒久平和を実現するため、我が国の基本方針である非核三原則を堅持し、世界連邦平和都市とともに、核兵器の廃絶をめざし、核戦争防止を強く訴え、ここに「のどかな田園都市守山」を平和都市とすることを宣言する。

ゆとり創造宣言に関する決議

(平成2年6月27日決議)

人間として心豊かな社会づくりをめざすには、生活にゆとりを持ち、充実した自由な時間と潤いのある生活を送ることが極めて重要である。

しかし、我が国の労働時間の現状は、欧米主要国と比較して年間、200時間以上も長いことから、国際的地位にふさわしい労働時間の水準の実現が求められている。

よつて、本市議会は、ここにゆとり創造宣言を行い、すべての市民が心身にゆとりを持ち、真の豊かさが実感できる人間性豊かな地域社会づくりのために、労働時間の短縮、生活環境の整備、文化、体育の振興等の条件整備に全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

守山市人権尊重都市宣言(平成7年9月26日告示)

→60ページ参照

守山市環境学習都市宣言(平成29年10月23日議決)

私たちが暮らす守山は、琵琶湖と野洲川の恵みに支えられ、美しい田園風景の広がる自然豊かなまちです。

私たち守山市民は、今日まで、「せつけん運動」をはじめ、全国に先駆けてのごみの分別、ほたるが住まう水辺環境、野洲川いかにくだりに長年取り組んできました。

さらに、地球市民の森の100年の森づくり、赤野井湾の外来植物の市民の手による駆除活動、自転車で移動しやすいまちづくりなどに取り組んでいます。

この恵まれた環境を未来へつなぐとともに、自然を大切に子どもたちが育つまちを創りつづけるため、ここに守山市民が共に学び、考え、行動する『環境学習都市』を宣言します。

- 1 わたくしたちは、ほたるが飛び交う水辺や森づくりを通して、自然を大切にすることを育みます。
- 1 わたくしたちは、ごみの分別や減量化を通して、資源の活用と環境意識の向上を図ります。
- 1 わたくしたちは、豊かな琵琶湖の恵みを通して、琵琶湖の大切さを学び、琵琶湖を守るために行動します。
- 1 わたくしたちは、地球環境と自然を守る暮らしを通して、エネルギーを大切に、持続可能な社会を築きます。
- 1 わたくしたちは、環境学習を通して、人と人がつながり、環境や自然に関心を持ち、その大切さを共有します。

ここに本市の市制施行50周年記念誌を皆さまにお届けします。

市制施行50周年を迎えるにあたり、「市民とともに50周年を迎える喜びを分かち合いたい」という宮本和宏市長の熱い思いからこの冊子は生まれました。

2017(平成29)年8月18日、第1回編集委員会が開催され、編集委員8名、執筆委員3名が委嘱され、代表に私が指名されました。

執筆委員は3名で大丈夫か、増員してはどうかとの意見が出ましたが執筆委員からは3名で大丈夫ですとの受諾回答がありスタートしました。

編集にあたり、内容は第1部「年史編」、第2部「市民憲章編」、そして第3部「資料編」の3部構成でいこうときまり、私もオブザーバーとして執筆委員会に毎回出席しました。

大体2～3週間に一度の執筆委員会を持ち、編集委員会は10回を数えました。

北川俊一初代市長の理念「道造ってまちを創る」がこの50年の歩みにはしっかり現われています。歴代市長がこの理念をしっかりふまえ、力強く守山市をつくりあげてこられたのです。

この記念誌をつくる過程で50年間にとどまらない歴史の重みを感じました。

- (1)1922(大正11)年5月5日、全国で最初に青少年赤十字が守山小学校で結成。その後約100年たった現在も守山小学校を中心に市内の学校に脈々とその精神が受け継がれています。
- (2)その昔、ゲンジボタルが市内のあちこちで乱舞し、天皇陛下に献上されていました。ところが開発がすすみ、河川の水が汚れ、一時ゲンジボタルが全滅。これは大変と市民が立ち上がり、現在では街中でもほたるが飛び交うようになっています。
- (3)暴れ川「野洲川」に昔から苦しめられ生活してきました。1979(昭和54)年に野洲川の北流、南流の真中に一本の通水路ができ、以降堤防の決壊はなくなりました。

この道ひとすじに、あるいは何代にもわたって家業を受け継いでこられた方からも原稿を寄せていただきました。守山市の誇りです。

「先人の方は立派だなあ、市民の皆さんは本当によくやってくださったなあ」

これが編集を終えた今の率直な気持ちです。

字数に制限があり、記載できなかった事業がまだまだあります。当時、携わった方からすれば残念な思いは大きいと思いますがご勘弁ください。

市制施行50年はほんの一里塚です。さらに50年先の守山市に住む人たちがこの冊子を見て、守山市民憲章をさだめ、活気と希望にみちたまちをつくるため努力していたことが評価され、その時の活動に少しでも参考にいただければこんな嬉しいことはありません。

令和2年7月1日

編集委員長

山川芳志郎



守山市制施行50周年記念誌編集委員

委員長	山	川	芳志郎
副委員長	伊	藤	五作
委員	秋	山	新治
委員	石	田	清浩
委員	大	崎	裕士
委員	佐	伯	一恵
委員	松	井	里美
委員	松	村	茂

守山市制施行50周年記念誌執筆委員

委員	井	上	純作
委員	奥	村	信夫
委員	高	橋	智恵子

※本文中の氏名は敬称略です

※資料や行事等については原稿執筆当時(2020年3月)の情報をもとにしています

表紙写真説明



①「灯でつなぐ、守山2019」(2019年12月)

②市のキャラクターとしても使われるゲンジボタル

③市の花、妙蓮

④対岸の大津市とつなぐ琵琶湖大橋

守山市制施行50周年記念誌

2020(令和2)年7月1日 発行

編集 守山市制施行50周年記念誌編集委員会

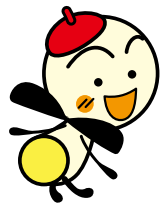
印刷 アインズ株式会社

発行 滋賀県守山市

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号

TEL (077)583-2525 FAX(077)582-0539

URL <https://www.city.moriyama.lg.jp>



守山市
MORIYAMA CITY

〒524-8585 滋賀県守山市吉身二丁目5番22号
電話番号：077-583-2525 (代表)
ファクス：077-582-0539
U R L： <https://www.city.moriyama.lg.jp>

総務部公文書館

電話番号：077-514-1050
ファクス：077-514-1051

